

2024年度 東海シンポジウム会告

主題=ポリマー分子組織化学

分子が組織化することにより、それぞれの分子の機能の加算的な組み合わせを超えて、非線形的、創発的な新たな機能を生み出すことが期待されてきました。最近、ポリマーの分子組織を巧みに操ることで、分子間の無限の組み合わせを制御し、ポリマー分子組織機能を自在に創出する先導的な研究が報告されています。今回のシンポジウムは、「ポリマー分子組織化学」と題し、本分野の第一線で活躍されている研究者の方々に講演をお願いしました。非常に充実した内容となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

主催 高分子学会東海支部

協賛 日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部 日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部 プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部 日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時 2025年1月23日(木)、1月24日(金)

会場 ウィンクあいち(<https://www.winc-aichi.jp>)1301 会議室

1日目 1月23日(木)

<10:00-12:10>

はじめに (名古屋大)田中健太郎

1) ナノ空間物質とポリマーとの分子組織化学(東京大)植村 卓史

2) 構造タンパク質の階層構造化 一クモ糸の分子設計と自己組織化を例に(京都大)沼田 圭司

<13:25-15:25>

3) 無機ナノシートを利用した自己組織化の化学(信州大)佐野 航季

4) ナノアロイによる機能発現と新材料創出(東レ(株))小林 定之

<15:40-16:40>

5) 量子の時代における分子集積材料の開発(東京大)楊井 伸浩

2日目 1月24日(金)

<10:00-12:00>

6) 合成高分子の絶対立体構造制御に基づく機能化(名古屋大)井改 知幸

7) 室温にガラス転移温度を有する特異な α -オレフィン共重合体の開発とその用途展開(三井化学(株))植草 貴行

<13:25-15:25>

8) 分子認識の特異性により制御された超分子ポリマーの構造と機能の化学(広島大)灰野 岳晴

9) ハイブリッド型分子設計から創出する刺激応答性分子組織材料(岐阜大)池田 将

<15:40-16:40>

10) 超分子重合で創る未踏メゾスケール構造(千葉大)矢貝 史樹

参加要領

1) 定員 100名

2) 参加費 ① 企業 10,000円 ② 大学・官公庁 5,000円 ③ 学生 無料

3) 申込方法 以下のURLからお申込みください。

<https://forms.gle/g28cAwwGmijaKjEd6>

参加費は銀行振込

【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】

にてお支払いください。

※参加登録のキャンセルは、1月16日(木)までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。納入していただきました参加費を返金させていただきます。

なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

4) 申込締切 1月16日(木)

5) 振込期限 1月16日(木)

お問い合わせ先

〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35番18号 一光大須ビル
(公財)中部科学技術センター内 高分子学会東海支部

東海シンポジウム係宛

TEL: 052-231-3070 FAX:052-204-1469

E-mail : koubunshi☆cstc.or.jp

(☆を@にかえてご利用ください)